

氏名	兼宗 美幸	部署	保健医療福祉学部看護学科	職名	教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	博士（看護学）甲第22号				
学歴	1986年千葉大学看護学部看護学科卒業。2000年文教大学大学院人間科学研究科修士課程生涯学習学専攻修了。 2020年順天堂大学大学院医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	1986年都立築地産院（当時）助産師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1996年同講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2020年度現職				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、更年期と加齢のヘルスケア学会、日本女性医学学会、日本女性心身医学会、日本看護研究学会、日本看護教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本看護技術学会、日本看護シミュレーション学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	看護・介護で使えるナーシングマッサージ：「触れる」をケアにする	共著	あり	医学書院、全136ページ	看護における指圧マッサージ研究会、兼宗美幸、河内香久子、木村伸子、坂本めぐみ、武田美津代、中山久美子、福田彩子、柳奈津子	2024年5月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究◎	児童生徒のインターネットゲーム障害を予防・早期発見する専門職研修プログラムの開発		研究分担者	2021.4 - 2025.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	母性看護学Ⅰ	○	7	看護学科1年生約130名を対象に母性看護学の基盤となる概念、性と生殖にかかわる健康や看護について動画や小冊子などを活用して統合的に伝え、頻回に複数の学生に問いかける等双方向性となるよう留意した。		
2	リプロダクティブヘルスと看護	○	3	看護学科3年生約80名を対象に「RHRと健康上の課題」「ジェンダーと看護」「性暴力と被害者支援」を担当した。前年度の学生の感想や意見を踏まえて内容（事例の提示と解説）や動画教材を変更した。		
3	助産業務管理	○	4	助産系4年生22名を対象に、「助産管理の概要」「助産師のキャリア」「災害時の周産期体制と母子支援」「助産業務管理の実際」などについて既習事項と関連付け、個別ワークを取入れて講義した。		
4	周産期のケア		2	助産系3年生22名を対象に、「助産学概論」「助産師の職業倫理と生命倫理」の講義をお担当した。既習事項と関連付けて伝え、小グループでのワークを取入れ双方向性となるよう留意した。		

5	母性看護学Ⅱ		1	看護学科2年生130名を対象に、ライフサイクル各期における性と生殖に関連する健康課題と看護を担当した。架空事例での具体的な看護実践について具体的に、個別ワークを取入れて実施した。
6	ヒューマンケア論		0.5	全学科1年生を対象に45分間「産まない権利から生を見つめる」をテーマにビデオ教材を作成した。統計や実践をもとにセクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの視点から生を考える重要性を伝えた。
7	大学院博士前期課程 リプロダクティブヘルス論	○	7	前期課程1名を対象に文献抄読と討議により「RHR,SHRの概念」「性暴力被害者支援」について文献を用いて講義と討議を行い、院生の研究テーマと研究計画を深めることを支援した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	分娩期のケア		18	助産系3年生17名を対象に、演習「分娩第一期のケア」「分娩介助技術」「助産過程展開」の学習を積み重ねるよう個別の学習状況を確認しながら担当した。安全で確実な人的・物的環境を整備した。
2	母性看護学Ⅱ		4	看護学科2年生130名を対象に周産期にある母児と家族の架空事例に関する看護過程の展開について自己学習・グループ学習を支援した。主体的に振り返りができるように事前学習を確認しながらかかわった。
3	周産期のケア		1	助産系3年生22名を対象に「助産師外来演習」を担当した。対象者(妊産褥婦や家族)の視点でのケアの検討や振り返りができるように事前学習を確認しながら支援した。
4	リプロダクティブヘルスと看護		3	看護学科3年生約80名のうち約20名4Gの個別課題の支援とGWのサポートを行った。課題のテーマでは個人に合わせた学習の支援を行い、GWの進行を支援した。
5	大学院博士前期課程 看護学演習 (リプロダクティブヘルス論)	○	15	前期課程1名を対象に文献抄読と討議により院生の研究テーマと研究計画を深めることを支援した。
6	大学院博士後期課程 次世代育成看護論		5	後期課程1名を対象に「リプロダクティブヘルス/ライツの支援」から「女性の意思決定支援」「生涯を通じた女性の健康づくり支援」に関して文献抄読と討議により院生の研究テーマを深めることを支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	助産学実習Ⅱ	○	2024.8~2024.11	看護学科助産系4年生を対象に、分娩介助実習前の学内代替事例、複数施設での分娩介助実習、NICU見学実習を担当した。ケアの原則を臨地で主体的に学ぶよう学生の心身のケアと個別的な学習を支援した。
2	母性看護学実習		2024.05~2024.06	看護学科3年生を対象に、主に性と生殖に関するヘルスプロモーションの実習に関して担当した。家族・地域の中にある性と生殖に関する健康と権利の課題について討議が活発化するようファシリテートした。
3	助産学実習Ⅰ		2024.05~2024.06	看護学科助産系4年生を対象に、市区保健センター2か所で地域母子保健関連事業を見学する3Gを担当した。地域での生活と健康課題、多職種連携・協働の実践に関して施設とコロナ禍後の実習方法を調整した。
4	総合実習(母性看護学領域)		2024.07	看護学科助産系4年生22名を対象に、助産所実習と母体・新生児搬送コーディネーター事業見学実習を担当した。臨地実習指導者の協力を得て、学生の疑問や反応に合わせて課題や見学内容を調整した。
5	IPW実習		2024.10.	全学科4年次生6名を臨床での実習を教員FTとして支援した。実習施設FTと他グループ教員FTと共に連携と統合を実践できるよう支援した。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.03～2024.12	主指導 7名	副指導 0名
2	修士論文	2024.04～2025.03	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2024.04～2025.03	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	院内看護研究	草加市立病院	倫理審査会および看護研究発表会（全5回）	2024.4～2025.3
2	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	臨床家のための看護研究セミナー「研究計画」（全2回）	2024.6～7
3	オープンカレッジ講座 専門職スキルアップ講座	埼玉県立大学	臨床家のための看護研究セミナー「論文作成とプレゼンテーション」（全2回）	2024.10～12
4	女性のための健康セミナー	越谷市保健医療部市民健康課	更年期とうまく付き合おう『これからの未来予想図を描いてみよう』	2025.03
5	令和6年度健康講座	久喜市地域保健課	女性ホルモンと上手につきあおう-こころとからだの「セルフケア」-	2025.03
6	第3回オンライン実践研修会	日本更年期と加齢のヘルスケア学会	更年期症状緩和のための認知行動療法（CBT） -ステップバイステップでセルフコントロール-	2024.09
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県	埼玉県総合医局機構地域医療教育センター委員会 委員		2023.4～現在
2	公益社団法人 埼玉県看護協会	埼玉県助産師出向支援導入事業協議会 委員		2023.4～現在
3	さいたま市	さいたま市男女共同参画推進協議会 委員		2022.4～現在
4	ウィメンズヘルス研究所	幹事		2020.4～現在
5	公益社団法人日本助産学会	査読委員		2020.4～2025.03
6	公益社団法人日本母性衛生学会	査読委員		2020.4～2025.03
7	一般社団法人日本母性看護学会	査読委員		2020.4～現在
8	一般社団法人日本看護科学学会	査読委員		2020.4～現在
9	一般社団法人日本母性看護学会	評議員		2023.4～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	認定特定非営利法人 こしがやともろう	理事	2017.07～2024.06
2	地域貢献活動	埼玉県立大学オープンカレッジ	ユースクリニック企画・運営	2024.10.
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教育人事委員会資格審査会委員候補者のための代議員会委員		2024.04-2025.03
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会委員		2024.04-現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	衛生委員会委員		2024.04-2025.03
4	学科等における委員会等	JANPU/JABNE担当		2024.04-2025.03
5	学科等における委員会等	保健師助産師関連科目履修者選考委員（問合せ先）		2023.04-現在
6	学科等における委員会等	看護学科災害支援委員（妊産婦福祉避難所）		2024.04-現在

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		